

調布市防災教育の日

令和5年4月22日

1校時 煙体験

①防災映像視聴 ②煙体験 ③ワークシート記入



①防災映像視聴

福岡市消防局公式

現役消防士が教える

～煙の怖さとその対処～



火災の死因第1位

一酸化中毒

『煙を吸わない

吸わせない』

・低い姿勢

・煙をブロック

ドア・防火戸・防火シャッターを閉める

・煙を外に逃がす

窓や排煙窓を開ける

* 日頃から避難経路や
排煙窓の開閉ボタン
の確認をしておくこと

2校時 道徳 いのちの授業

生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する

1年生 東日本大震災発生時、地元の写真スタジオで撮影アシスタント兼デザイナーとして働いていた**あいしまさん**。

震災直後から遺影写真の依頼を受け、笑顔になれない子ども達とも出会い、その出会いは今でも忘れることができないでいる。震災を経験した子どもたちは何歳になったのか、笑って過ごせているのか、今でも考えると言う。「ずっとしまっていた」体験を、10年の節目に**漫画で描いたあいしまさん**。その記憶や感情を漫画で伝えるることにより、多くの命が犠牲になった震災を今後も考えて欲しいという思いが込められている。

2年生 東日本大震災の時に、大切な家族と思いの詰まった家を流されてしまった大槌町在住中学2年生**黒沢菜緒佳**さんの書いた**作文「バイバイ」**を読んだ。

あたり前にある今の幸せや、命は決して失われてはならないものであること、そして人は一人で生きられない、周りの人たちへ感謝の気持ちや支え合うことが大切ということを知る機会となった。



八中の卒業式で3年生代表3人が流した涙には、充実した3年間の思いや多くの人への感謝の気持ちが込められていました。
梶原くんの涙には・・・+悔しい思いが・・・
その思いを胸に梶原くんは、中学校卒業後、岩手県の国立一関高等専門学校に進学し、5年間土木工学を学び、現在は地元に戻って地盤改良の仕事に取り組んでいるそうです。「地面を丈夫にしてるんだぜ!!」って同級生に胸を張って言えるかな～」と数年前のテレビで**笑顔**で答えていたそうです。

今いきていることに**感謝**！
災害を忘れない

現実を受け止め
辛さや悔しさを
乗り越え、**前に**
進もうとしている

あたり前に思える
日々や友だちを
大切にしよう



3年生「気仙沼市立階上中学校卒業式」は、震災翌日に行われる予定でしたが、10日後の3月22日に行われました。「天を恨まず」は、卒業生代表の梶原裕太さんが語った答辞の中の言葉です。わずか15歳前後の少年が歯を食いしばりながら最後まで立派に読み上げた答辞の言葉は、まだどう受け止めたら良いのか分からなかった大人にも、力強いメッセージとなって語りかけました。

卒業式答辞・卒業生代表の言葉「天を恨まず」

本日は、未曾有の大震災の傷も癒えない最中、わたくしたちの為に、卒業式を挙げていただきありがとうございます。

ちょうど、10日前の3月12日、春を思わせる暖かな日でした。わたくしたちは、そのキラキラ光る日差しの中を、希望に胸を膨らませ、通いなれたこの学舎を、57名揃って巣立つ筈でした。

前日の11日。

一足早く渡された、思い出のたくさん詰まったアルバムを開き、10数時間後の卒業式に、思いを馳せた友もいたことでしょう。「東日本大震災」と名づけられる、天変地異が起こるとも知らずに...

階上中学校といえば「防災教育」といわれ、内外から高く評価され、十分な訓練もしていたわたくしたちでした。しかし、自然の猛威の前には、人間の力はあまりにも無力で、わたくしたちから大切なものを、容赦なく奪っていきました。天が与えた試練というには、むごすぎるものでした。辛くて、悔しくてたまりません。時計の針は、14時46分を指したままです。でも、時は確実に流れています。

生かされた者として、顔を上げ、常に思いやりの心を持ち、強く、正しく、たくましく生きていかなければなりません。命の重さを知るには、大きすぎる代償でした。しかし、苦境にあっても、天を恨まず、運命に耐え、助け合って生きていく事が、これからの、わたくしたちの使命です。

わたくしたちは今、それぞれの新しい人生の一步を踏み出します。どこにいても、何をしようとも、この地で、仲間と共有した時を忘れず、宝物として生きていきます。後輩の皆さん、階上中学校で過ごす「あたりまえ」に思える日々や友達が、いかに貴重なものかを考え、いとoshinde過ごして下さい。

先生方、親身の御指導、ありがとうございました。先生方が、いかにわたくしたちを思って下さっていたか、今になってよく分かります。

地域の皆さん、これまで様々な御支援をいただき、ありがとうございました。これからもよろしくお願い致します。

お父さん、お母さん、家族の皆さん、これからわたくしたちが歩いていく姿を見守っていて下さい。必ず、よき社会人になります。

わたくしは、この階上中学校の生徒でいられたことを誇りに思います。

最後に、本当に、本当に、ありがとうございました。

平成23年3月22日

第64回卒業生代表 梶原 裕太



11:00

地震発生⇒避難訓練⇒引き渡し訓練



目的：平成23年3月11日に発生した東日本大震災を教訓として、「命の尊さ」について学ぶこと、「自らの命は自らが守る」という意識を高め、児童・生徒自身が自助、共助のための必要な知識や行動様式を身につけていく。

避難所開設訓練

- ・敷地内点検
- ・防災倉庫内確認
- ・マンホールトイレ設置など

